

## 西山ファミリー環境探検隊

### 活動を行う団体

西山森林整備推進協議会

<http://www.nishiyama-shinrin.com/>

（環境の都づくり会議、里山再生市民フォーラム、乙訓の自然を守る会、自然観察指導員、京都府立大学「森なかま」と連携。事務局：長岡京市）

### 活動の概要

長岡京市の約4割を占める「西山」はかつて良質なヒノキ材や松茸が収穫出来る豊かな里山であったが、生活様式の変化等に伴い、荒廃が進んでいた。

そこで、平成17年、森林所有者や、地域住民、企業、NPO、大学、行政などが集まり、西山森林整備推進協議会を設立し、「つなげたい みどりの西山 未来の子らへ」を合言葉に活動を進めていった。

翌年には、次世代を担う子どもたちの環境教育の推進・充実を目的とした「西山ファミリー環境探検隊」を発足し、西山をフィールドに小学生の親子を対象とした、自然を肌で感じてもらうイベントを行っている。現在までのべ3千人が参加する行事となっている。



春は山中での自然観察、夏は小泉川での川遊びや水中生物観察、秋はどんぐりの植樹体験や伐採体験の企画、冬は地元産の竹を使ったバウムクーヘン作りや府内産の鹿肉入りカレーを食べるなど、日常生活ではなかなか体験することのできないことを行っている。

また、府内の大学生と共に企画を考案したり、安全管理のため、看護師や薬剤師のOBの方にも同行してもらったりするなど、多くのボランティアの協力を得ている。

### 優良事例のポイント

荒廃が進んでいた里山を、多様な主体の参加の下で、再生するとともに、環境教育の場として、次世代の子どもたちの育成につなげている。

自然体験のみならず、食の体験といった生活体験・社会体験も取り入れており、地域資源を活用し、地域の魅力を発見するきっかけとなっている。また、自己だけで完結せず、周囲にも伝承されることで、地域全体の環境意識の向上が見込まれる。